第 13 号
2015 VOL.3
隔月誌
平成 27 年 5 月発行

かなえるレター

かなえるリハビリ訪問看護ステーション



担当スタッフより

カレーを作った理由は、「おつカレー！　おわカレー！」の意味を込めました！
本人様だけでなく、ご家族様も笑顔になっていただけ、素敵な最終訪問日になりました！

今月の表紙
大阪市　住之江区
石垣　弘枝さま

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

ご利用者数　H27/4/20 時点
介護保険　608 名　その他　6 名
医療保険　263 名　計　877 名　社員数 77 名

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都

ご利用者数　H27/4/21 時点
介護保険　143 名　その他　4 名
医療保険　14 名　計　161 名　社員数 13 名

ご利用者からの投稿募集



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または、訪問スタッフまでお問い合わせ下さい。あなたの投稿をお待ちしております。

かなえるリハビリ
訪問看護ステーション
〒550-0015
大阪市西区南堀江 1-16-15
名城ビル 4 階 D 号室

Tel　06-6531-3500
Fax　06-6531-3510

かなえるリハビリ
訪問看護ステーション都
〒604-8371
京都市中京区
御池通神泉苑西入
神泉苑町 1-11　コマ・ビル 3 階
Tel　075-803-0536
Fax　075-803-0537

かなえる　～ご利用者とともに～



理学療法士
古市　淳子

今回は、私が担当させていただきました石垣弘枝さまのリハビリとリハビリ卒業までの経緯を紹介させていただきます。石垣さまは、昨年５月に左手首（左橈骨尺骨遠位部）を骨折され、左手を使用した料理動作を行うことが難しくなっておられました。週１回の訪問リハビリを行い、積極的に動作練習に取り組んでいただけた結果、料理動作が可能になり今年の２月にリハビリを卒業されました。

訪問リハビリ開始時に、石垣さまが生活の中で、どんな役割をお持ちで何が重要な活動となっているのかをお聞きしたところ「料理」という活動が見えてきました。元々料理が好きで、以前はご家族のお弁当を作っておられました。また、食材選びのための買い物も好きで毎日近所のスーパーや一駅先のスーパーまで買い物にも行っておられました。

当たり前の生活を過ごしていた矢先の左手の骨折。その影響により、左手で食材を握ったり、食材を手の中で操作したりと細かい動作が難しくなりました。また以前は毎日買い物にも出かけておられましたが、料理をされなくなった影響により、外出機会も減少し、全身の持久力・筋力の低下もみられました。







「料理ができるように、買い物にも行けるようになる」を目標にリハビリをしました。柔らかいボールや硬いボールを食材に見たてて握ったり、指でうまく回転させたりと巧緻性向上を図りました。以前のように外出するために全身の持久力を向上し、再転倒を防ぐために下肢筋力向上を行っていき、自主トレーニングにも取り組んでいただきました。

リハビリや自主トレーニングに積極的に取り組んでいただいた結果、包丁での皮むきが可能になり、徐々にですが料理をされるようになりました。また毎日近所のスーパーや一駅先のスーパーまで買い物に行けるようになり、電車を乗り継いでデパートや美容院にも行かれるようになりました。以前のようないきいきとした生活に戻っていくことを石垣さまご自身が感じ、喜んでおられました。

２月末にリハビリ卒業が決まり、最終日は集大成ということでカレーを作ることにしました。あっという間に材料の下ごしらえをされ、テキパキとカレーを作られました。

短い時間で目標を達成することをお手伝いさせていただくことができ、自分のことのように嬉しく思います。





リハビリ最終日に
カレーの調理に
取り組む石垣さまと
出来上がりを
楽しみに待つ息子様

ご利用者投稿のコーナー





リハビリで公園を歩けて、満開の桜を見れてうれしかったです。

ご利用者コメント

大阪市　西区
池田　節子さま
屋外歩行場面より

「春に桜を歩いて見に行く」という目標で、冬からしっかりリハビリに取り組み、春にはお花見ができました。桜を見ているうちに最長距離の歩行達成！次の目標を立てて、これからもがんばっていきましょう！

担当スタッフより

リハビリまめ知識

脳を活性化させる







作業療法士
澤田 浩基

今回は脳を活性化させる簡単な運動を紹介させていただきます。体操の前に少し脳について学んでみましょう。

脳は大きく右脳と左脳の二つに分けることができます。脳を活性化させる方法には計算課題や、新聞を読むなど頭を使うことも有効ですが、軽めの運動も非常に効果があると言われています。

また手を使うことも良いといわれています。

今回は手を使い左右の脳をバランス良く活性化させる運動をしていきたいと思います。





椅子に座った状態で、足踏みをします。左足を挙げた時に右手で左の膝に触れます。右足を挙げた時に左手で右の膝に触れます。
これを 10 回繰り返します。

ポイントは数を声に出して行うこと、背中が丸くならないように椅子に座ることです。

慣れてきた人は立った状態で行ってみるのもいいですよ。

かなえる TOPIC

かなえるシーズンイン研修　開催！！

皆さん、こんにちは。教育研修部門・理学療法士の門田です。気候も少しずつ暖かくなり過ごしやすい日が多くなってきましたね。

今回は当社社内研修「かなえるシーズンイン研修」について紹介させていただきます。

かなえるリハビリ訪問看護ステーションでは、社内教育の一環として毎年 4 月に社内方針・経営理念の確認や社員の足元点検を目的とした研修会を開催しております。今年も 4 月 19 日（日）に「かなえるシーズンイン研修」として開催されました。

この研修会には、当社に在籍する 90 名の全社員が参加必須となっております。今回の研修会には、当社のグループ会社である、株式会社三輪書店、代表取締役の青山智様にもご参加いただき、ご挨拶と医療・介護分野における社会動向等のお話もいただきました。

研修内容は、主に平成 27 年 4 月の介護報酬改訂内容とそれに伴う業務内容の確認、※生活行為向上マネジメントの意義と必要性についての学びでした。社員一同真剣に取り組む姿がみられました。

当社では年間を通して多くの研修会を企画し開催する予定をしておりますが、それらはすべて社員が利用者様により良いサービスを提供できるように自己研鑽するためのものであります。

今回の研修会では、今後も利用者様や利用者様に関わる方々に満足していただけるサービスを提供し続けるためには、日々の努力が必要であることを再確認することができました。

これからも社員一同、ともに切磋琢磨して参ります。今後ともかなえるリハビリ訪問看護ステーションをよろしくお願いします。

※生活行為向上マネジメント：生活をする上で困っていること、または困難さを感じている事柄でやってみたい、もっとうまくできるようになりたいと思う生活行為を支援する作業療法の思考過程を示したものです。
「生活行為の自立を目指して」　一般社団法人日本作業療法士協会　生活行為向上マネジメント　パンフレットより引用



教育研修部門より







春の日差しに包まれ、利用者様との屋外歩行も気持ちの良い季節になりました。桜は散ってしまいましたが、春は出会いと別れの季節ですね。かなえるリハビリ訪問看護ステーションにも 4 月から新しい仲間が 7 名加わりました。フレッシュな力も加わり、より一層パワーアップして、皆様に笑顔を届けられるよう社員一同頑張っていきたいと思います。

編集者　井戸　孝則